

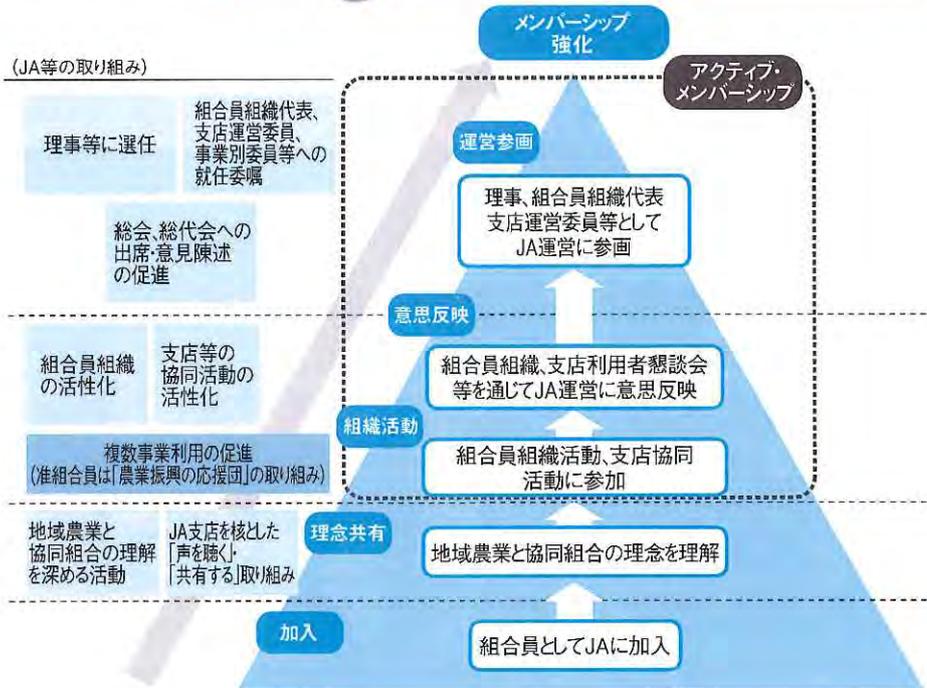


組合員の「アクティブ・メンバーシップ」の確立

正・准組合員のメンバーシップを強化します h

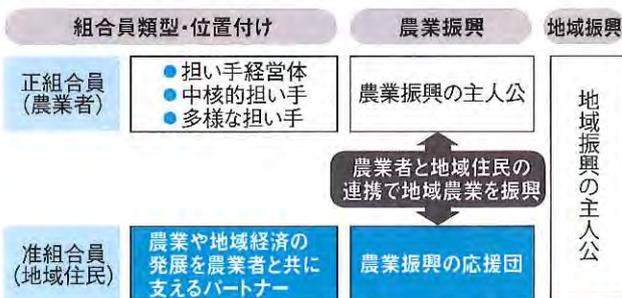
- 組合員構成の変化・多様化にJAは十分な対応がはかれておらず、組合員の顧客化や「わがJA」意識の低下、意思反映や運営参画の機会に乏しい組合員の増加が課題となっています。
- このため、JAは、多様化した組合員のニーズを把握し、事業利用の拡大とあわせて、組合員の地域農業と協同組合への理解を深め、意思反映と運営参画をすすめます。

(*) アクティブ・メンバーシップとは？
 組合員が積極的に組合の事業や活動に参加すること。
 JAにおいては、組合員が地域農業と協同組合の理念を理解し、「わがJA」意識を持ち、積極的な事業利用と協同活動に参加すること。
 事業利用や協同活動への参加は、個々の組合員のニーズや考え方により、多様な関わり方を前提としている。



准組合員の「農」に基づくメンバーシップを強化します i

- 農業振興と地域振興の両面から農業者と地域住民の連携の重要性が高まっています。
- このため、JAグループは、准組合員を「農業や地域経済の発展を農業者と共に支えるパートナー」と位置付け、農業者の所得増大等の取り組みとあわせて、准組合員の「農業振興の応援団」の取り組みを拡充します。
- JA・連合会・中央会は、准組合員がJAの目的に賛同し、JAの事業と組織活動への積極的な参加を通じて地元農業を応援できるよう取り組み、「農業振興の応援団」の輪を拡大します。
- あわせて、准組合員の意思反映・運営参画をすすめ、准組合員の「農」に基づくメンバーシップを強化します。



JAファーマーズマーケットにおける地産地消の拡大



JAまつりによる准組合員・地域住民への食と農の理解促進

農協運動者としてのJA役職員づくりに取り組みます

- 組合員のメンバーシップ強化には役職員の役割発揮が不可欠のため、組合長をはじめとする役員は、農協運動の推進者である役職員の意識改革と行動改革に率先して取り組みます。
- また、JAは、必要に応じて「人材育成基本方針」の見直しをすすめ、JAの経営理念・経営戦略を実現する「自ら考え行動する」「協同組合理念を日常業務に活かし、組合員の参画につなげることのできる」人材育成に取り組みます。